



日本防火技術者協会ニュース

特定非営利活動法人日本防火技術者協会

NPO 法人日本防火技術者協会 平成26年度通常総会 開催予告

日時：平成26年1月29日(水)
13:30~14:30

場所：東京理科大学 森戸記念館

議題内容《予定》

- 1) 平成25年度(2013年度)事業報告
- 2) 平成26年度(2014年度)活動計画
- 3) 平成25年度会計報告、平成26年度
予算計画
- 4) 監査報告
- 5) その他(「JAFPE 防火技術者」について、他)

JAFPE 防火技術者資格 第1回認定

資格制度がスタートしました。

第1次認定を12月に行う予定で進めています。認定委員会メンバー(5名)と事務局(2名)を理事会で指名し、理事推薦による約20名を1月には公表する予定です。

続いて第2次認定の手続きを来年早々にスタートし、4月には認定者を公表する予定です。HP上で応募を行いますので今後の情報をウォッチ願います。

この建物は、発行部数世界一を誇る読売新聞の本社ビルです。低層部には地域貢献として、段床と平土間の2つのホール、新聞教室、展示スペースなどの施設を整備し、中層部には3層吹抜を中心にした最大限の平面スペースを確保した編集局と緑豊かな屋上庭園と社員食堂、最上部には東京を一望するレセプションラウンジなどを配置しました。

防災的には、低層部の吹き抜け部分の演出のための性能設計、ホール、展示スペースの避難安全などがポイントとなります。

なお、この見学会は日建設計所員むけ見学会と同時開催されます。



特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、認知症グループホームなどの防火管理者や施設長など152名の参加がありました。

また、6月7日には熊本市内の黒髪しょうぶ苑という有料老人ホーム・グループホーム併設施設を熊本消防局の案内で視察し、施設関係者などと有益な対話を行いました。

防火研修会「最新の超高層建築 と防火設計」開催報告

6月18日に防火研修会を開催し、60名を超える参加がありました。

- ・超高層建築の現在：最新の超高層建築事例や計画内容の紹介：日建設計 福井潔
- ・超高層建築とエレベーター避難：超高層におけるエレベーター利用避難の現状の紹介：東京理科大学 関澤愛
- ・「2012 SFPE 防火性能設計に関するシンポジウム ケーススタディ」における中間避難階を取り入れた500mの超高層の防火設計日本案の紹介と各国案の概要：JAFPE ケーススタディチーム

参加された方には会員外のデベロッパーの方も多く、超高層建築に関する関心の高さが感じられました。講演では、最新の世界の超高層建築の事例や、そこで取り入れられている中間避難階、エレベーターの避難利用といった技術が紹介されました。また、SFPEのシンポジウムにおける500mの超高層のケーススタディ案では、緻密に設計された日本案の紹介と各国の提案の概要と各案の比較が紹介され、ケーススタディとはいえ、今後の防火設計のヒントが多く含まれていました。

本会の定款改正

本会の目的を達成するための事業に「(8) 防火技術者の育成及び登録の事業」を追加する定款改正が、2013年1月30日の本会の年次総会で承認されました。4月15日に特定非営利活動法人の定款変更の認証を東京都に申請していましたが、7月29日に承認され、8月27日に定款変更に伴う法人登記を完了、9月10日に東京都に登記完了報告を提出しました。これに伴い、「防火技術者の育成及び登録」の新たな事業が行えることとなりました。

防火研修会開催報告

高齢者施設避難研究会では、特に夜間の防火避難安全向上を目的に月一度の研究会を開催して関係者の自己啓発に役立つことを意図したマニュアルの作成を行っています。今回日本建築学会が北大で開催

関澤愛先生 SFPE の fellow 記念講演会、お祝いの会 開催予告

東京理科大学の関澤愛教授がこのたびSFPEのフェローになられたことを祝して記念講演を開催いたします。多くの方の参加をお願いいたします。引き続き、お祝いの会を同会場にて開催いたします。是非お越しください。

開催日：11月29日(金)

1) 関澤先生講演 17:00~18:00
(森戸記念館)

2) お祝いの会 18:30~20:00
会費 5,000円(予定)

読売新聞東京本社見学会開催予告

下記の通り見学会を開催いたします。
(申し込みは締め切りました。)

- ・日時 11月29日(金) 11:30~13:00
- ・集合：1階エントランス

2013 Exchange Meeting of SFPE Asia-Oceania Chapters - Taiwan Chapterのお知らせ

アジアオセアニア地域のSFPE支部交流会が、2005年3月から始まっています。日本支部の関澤副理事長が、チェアマンとしてその重責を勤めています。

今年12月14日に台湾で交流会、前日の13日には台湾SFPE支部主催の文化財防災セミナーも開催されます。このセミナーでは、福井理事長が招待講演者の一人となっています。

年末の忙しい時期ではありますが、会員皆様にも参加をおすすめします。

防火研修会「福祉施設の夜間の 防火管理と訓練の方法」開催報告

6月6日に熊本市消防局熊本市広域防災センター2階視聴覚室において、第6回防火研修会「福祉施設の夜間の防火管理と訓練の方法」を熊本市消防局の協力を得て開催しました。



された機会に以下 2 箇所の会場で防火研修会を開催し、多数の参加者を得て大盛況でした。

8月29日の第7回防火研修会『雪のある寒冷地における高齢者施設の夜間の火災安全確保について考える』(札幌市)では、研究会主査の佐藤が積雪のある地域の避難を少人数で円滑に行うためには、このマニュアルの基本方針としての各階に水平避難できる場所を確保することの重要性を提案しました。ついで、特にこのマニュアルの目玉の一つである、関係者の頭を鍛えることを目的とした「図上演習法(FIG)」について神戸大学大西先生の講演と参加者をグループに分けた演習を行いました。

8月30日の第8回防火研修会『積雪のある寒冷地における高齢者・障害者施設(グループホームも含む)の夜間の火災安全確保について考える』(小樽市)では、グループホームのように比較的小規模の施設の安全性向上に関して、夜間避難マニュアルの骨子について佐藤が講演するとともに、大西がFIGの進め方について講演しました。

また、両日札幌や小樽など雪国の特別養護老人ホームやケアホームなど4箇所の施設を見学いたしました。

これらの詳細についてはすでに、本会のホームページに掲載してありますので、興味のある方はご確認ください。

エレベーター避難エスカレーター避難検討WG委員の公募

本会では、エレベーター、エスカレーターの避難利用の促進を目的としたワーキンググループを設置することにし、ワーキンググループへの参加者を公募しています。HPにて公募詳細をお読みいただき、積極的な参加をお願いします。

・連絡先 syamada@fujita.co.jp 山田茂

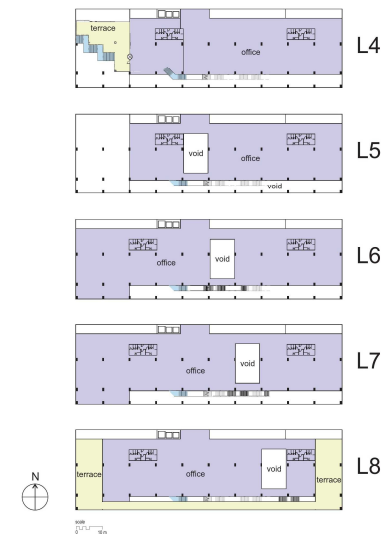
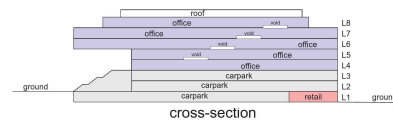
ケーススタディWG委員の公募

一昨年に引き続き今年もSFPEの「防火の性能設計における国際会議」(2014年11/12~14 オーストラリア ブリスベン)において防火設計のケーススタディに応募することにいたしました。

あらかじめ提示された課題に対して各国が防火設計を発表し、技術の向上と共有を図る目的で開催されているもので、今年の課題は8階建ての雁行する吹き抜けを持つオフィスビルです。

参加希望者でWGを作り、案を仕上げたいと思います。発表をする人は会議への参加費用が免除されます。

多くの会員の方の参加を期待します。
・2014年1月~8月、1回/月程度
・東京理科大学国際火災科学研究所(予定)
・連絡先 fukui@nikken.jp 理事長 福井



ケーススタディ用の平面・断面図

(2013年11月現在)

した上で、より好ましい性能評価を行うための具体的な方法として、①運用ガイドラインの作成、②避難開始時間等の標準的な計算法の検討などを提案、実施することを目的としています。2012年5月から月1回のペースで、これまでに計18回WGを開催し、さらに適宜SWGも行い、検討を重ねています。

会員

会員 140名
賛助会員 7名
学生会員 5名

新入会会員

大西一嘉(神戸大学)
堀内 智(株)防災コンサルタント

新入会賛助会員

三井不動産アークテック・インテリジック(株)

新入学生会員

李 在永(京都大学大学院)

所属の変更

油野 健志(株)日本防災研究所
青木 浩(東京消防庁狹窪署)
敬称を省略させていただきました

理事会等の開催結果

理事会を以下の日に実施しました。
4月2日(火)、5月9日(木)、6月18日(火)、8月9日(木)、10月15日(火)

職能WG開催報告ほか

職能WGを以下の日程で開催しました。
6月4日(火)、8月9日(金)、9月25日(水)に開催しました。JAFPE防火技術者認定のための細目について検討しました。さらに8月31日(土)の建築学会大会(北海道)での防火委員会研究協議会でJAFPE防火技術者資格認定の概要を紹介しました。広く認知していただけるきっかけとなったと思います。ご参加の協会メンバーにも感謝いたします。

ルートCの標準化WG活動報告

高度な手法を用いた性能評価(ルートC)の円滑な運用を目指し、現状の課題の整理(運用的側面、技術的側面、その他)



SFPE・Jニュース
(SFPE 日本支部
の活動 第30号)

SFPE 日本支部 2013年度通常総会 開催予告

日時：平成26年1月29日(水)

14:30~15:00

場所：東京理科大学 森戸記念館

議題内容《予定》

- 1) 2013年度事業報告
- 2) 2014年度活動計画
- 3) その他

Journal of Fire Protection Engineering Vol.23, No.2, May 2013

Articles

■ William C-K Wong, Nicholas A Dembsey, Jarrod Alston, and Chris Lautenberger: A multi-component dataset framework for validation of CFD flame spread models

■ Eun Gyu Choi, Yeong-Soo Shin, and Hee Sun Kim : Structural damage evaluation of reinforced concrete beams exposed to high temperatures

Journal of Fire Protection Engineering Vol.23, No.3, August 2013

Case study

■ Hong-Zeng Yu : Physical scaling of water mist protection for ignitable liquid cut-off rooms

Article

■ Rodrigo Berreto Caldas, Ricardo Hallal Fakury, Joao Batista Marques Sousa, Jr, and Roque Luiz da Silva Pitanqueira: A numerical model for concrete slabs under fire conditions

■ Jeffrey S Rosen, Michael D Szkutak, Stephen M Jaskolka, Matthew S Connolly, and Kathy A Notarianni : Engineering

performance of water mist fire protection systems with antifreeze

■ Du Yang, Zhang Pei Li, and Ou Yi Hong : Effects of humidity, temperature and slow oxidation reactions on the occurrence of gasoline-air explosions

Journal of Fire Protection Engineering Vol.23, No.4, November 2013

Obituary

■ Craig Beyler: The most important FPE of his generation: an obituary for Philip J DiNenno, 1953–2013

Literature Survey

■ A Alvarez, BJ Meacham, NA Dembsey, and JR Thomas : Twenty years of performance-based fire protection design: challenges faced and a look ahead

Articles

■ Magnus Arvidson: A novel method to evaluate fire test performance of water mist and water spray total compartment protection

■ Miles Greiner, Marcelo del Valle, Carlos Lopez, and Victor Figueroa : Thermal measurements of a rail-cask-size pipe-calorimeter in jet fuel fires

<http://jfe.sagepub.com/>

Fire Protection Engineering 2ND Quarter 2013

Evacuation of Tall Buildings

■ Evacuation of Tall Buildings

■ Smoke Control in Very Tall Buildings – Past, Present, and Future

■ Elevator Pressurization

■ First Responder Challenges in Very Tall Buildings

Fire Protection Engineering

3RD Quarter 2013

Approaches and Resources for Building Fire Risk Assessment

■ An Overview of Approaches and Resources for Building Fire Risk Assessment

■ The Application of Fire Risk Assessments in Building Design and Management

■ Framework for Addressing the National Wildland Urban Interface Fire Problem

■ Fire Protection Inspection, Testing, and Maintenance and Building Fire Risk

■ Battery Calculations for Fire Alarm and Signaling Systems

Fire Protection Engineering

4TH Quarter 2013

LNG Industry and Fire Protection Regulations

■ The Liquefied Natural Gas (LNG) Industry and Fire Protection Regulations

■ How Much Dust is Too Much Dust?

■ Industrial Fire Protection

■ Flammable & Combustible Liquids Hazards

■ Applications of Fire Detection, Alarm and Signaling Systems in Industrial Occupancies

<http://magazine.sfpe.org/fire-protection-engineering/2013-07-01>